

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名 さかいミーツアート事業		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 文化観光 局 文化 部 文化 課		評価責任者(課長名)		辻尾	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化芸術基本法・音楽文化の振興のための学習環境の整備等に関する法律 自由都市堺文化芸術まちづくり条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	より多くの子どもたちが身近に芸術文化に触れる機会を充実するため、平成26年度より実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内の小中学生及び子どもたちに文化芸術体験を提供する指導者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	音楽、造形など多様な分野の芸術家を学校などへ派遣し、文化芸術の鑑賞・体験機会を充実することにより、次世代を担う子どもたちの豊かな心と感性を育むことができる環境づくりを進める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input checked="" type="checkbox"/> スクールセミナー 次代を担う子どもたちが身近に文化芸術に触れられる機会を充実するため、芸術家等を市内小中学校へ派遣する。 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	公益財団法人堺市文化振興財団				

Ⅲ. 投入量

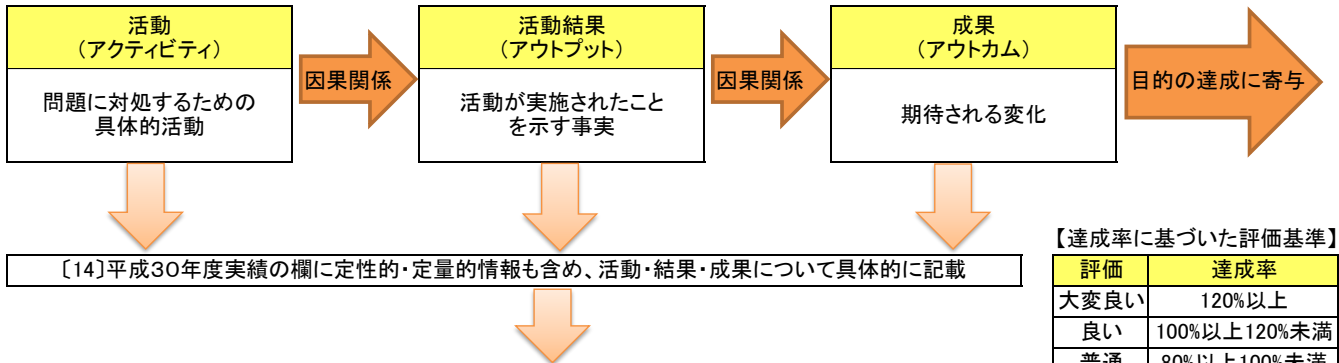
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	6,374	6,900	6,317	6,900	
	主な事業費内訳	スクールセミナー実施負担金	千円	6,368	6,897	6,317	6,900
		旅費	千円	6	3		
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(国際文化観光基金)	千円	6,300	0		
		一般財源	千円	74	6,900	6,317	6,900
	12	人件費 (b)	千円	4,100	4,100	4,100	4,050
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,474	11,000	10,417	10,950	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	さかいミーツアート事業	シート番号	08-39
-------	-------------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>(公財)堺市文化振興財団と連携し、さかいミーツアート事業を実施。</p> <p>募集校数を上回る申込があり、実施校は抽選による選定となった。</p> <p>【実施内訳】</p> <p>①音楽分野 10校 1,458人 ②造形分野 5校 269人 ③能楽分野 4校 383人</p>						
	15	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		実施校数	校	目標値	14	14	14	14
				実績値	20	21	19	
				達成率	143%	150%	136%	
			評価	大変良い	大変良い	大変良い		
		算出方法・設定根拠など		7区×2校				
	16	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		参加児童・生徒数	人	目標値	1,500	1,500	2,000	2,000
				実績値	2,006	2,263	2,110	
				達成率	134%	151%	106%	
			評価	大変良い	大変良い	良い		
		算出方法・設定根拠など		1校100名+α				

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>新規校の応募に加え、今までに事業を実施した学校からも「今年度も」との要望があり、目標値を上回る数の学校にて事業を実施することができた。学校の幅広いニーズに対応出来るようスクールセミナーのジャンルを増やすなど対応を随時行っており、今後も継続してニーズの把握に努める。</p>
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。